



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和5年7月18日(火)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

6

令和5年度「先輩からのメッセージ」に、次の言葉を寄せました。

「陸地が見えないところまで船をこぎ出す勇気がなければ、新しい大陸を発見することはできない」という言葉があります。高校卒業後の進路を決定することは、まさに「陸地が見えなくなるまで沖へ船をこぎ出すこと」なのでしょう。

この「先輩からのメッセージ」には、勇気を持って沖へと船をこぎ出した先輩方の、心からの激励メッセージが詰まっています。どうぞ、敬意と感謝の気持ちを持って、皆さんの進路選択の一助として活用してください。

「三知ろう」のお話をします。「三四郎」なら、人の名前、例えば昭和の時代の柔道小説・ドラマの主人公に「姿三四郎」という人がいました。また、かつて「三四郎」という名前のコンピューターの表計算ソフトもありましたが、ここで話するのは「三知ろう」、すなわち「三つのことを知ろう」ということです。進路目標を定めて、その実現のために前進する八高生の皆さんに、次の三つのことを知ってほしいと考えます。

1 自分自身を知ろう

自分は何がしたい、どんな将来像を描く、何が得意、どこが持ち味？

2 感謝の気持ちを知ろう

ありがとうは「有り難う」。当たり前ではない、という気づき。

3 本物を知ろう

本物に触れる経験は何より皆さんに前進する力を与えてくれる。

言うまでもなく、大学、専門学校、企業等の情報がWEBで相当量入手できる現代です。さらに、オープンキャンパスや学校／企業説明会、体験入学／入社など、受験する前にその学校や企業を肌で感じ詳しく知る機会は、一昔前に比べても格段に充実しています。「本物を知る」チャンスは、皆さんの前にたくさんあるのです。まずは自分自身と向き合ってしっかり自分自身を知るよう努めましょう。そして、家族をはじめあなたの進路実現を支援してくれる方々への感謝を忘れず、人生の充実を約束してくれる本物の進学先／就職先の姿に触れる機会を、あなた自身で求めてゆくことにも力を注いでください。

結びにあたり、メッセージを寄せてくれた卒業生の皆さんに改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます。そして、今の八高生の皆さんへ。メッセージを寄せてくれた先輩はもちろん、すべての卒業生の方々が皆さんにとって人生の「本物の」先輩なのだ、ということ、どうぞ忘れずに夢へ向かって前進してください。